

週刊

愛知民報

2021年
9月12日
第2553号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

秋に必ず
総選挙

比例東海で共産党 伸ばし政権交代を

愛知でオンライン演説会 志位委員長が訴え

日本共産党愛知県委員会は4日、志位和夫委員長を主幹に、秋に必ずある総選挙の比例代表東海ブロックで「2議席を奪還、3議席に挑戦する」取り組みを成功させるためのオンライン演説会を開きました。菅首相が自民党総裁選不出馬を表明し政権を投げ出した直後の演説会でした。

志位氏は、「菅首相の政権投げ出しは、コロナ対応の無為無策と逆行、感染爆発と医療崩壊で追い詰められた結果。また、辺野古新基地建設の強行や日本学術会議への人事介入などの強権政治、「モリカケ桜」や総務省の接待疑惑など政治とカネをめぐる腐敗への無反省の破たんです。9年間の安

倍・菅政治には自公が共同責任を負っています。政権交代がいよいよ必要。そのためにも筋を通す共産党を比例で伸ばそう」と呼びかけました。もとむら伸子、しまづ幸広、長内史子の各東海比例候補が必勝めざす決意表明をしました。同党愛知県労働者後援会の西尾美沙子さん(医療労働者)が激励のあいさつをしました。



「愛知オンライン演説会」で共産党押し出しの新しいポスターを紹介しながら支持を呼びかける志位和夫委員長(4日)

衆院東海比例 3候補が決意表明



長内史子 もとむら伸子 しまづ幸広

オンライン演説会の視聴者に向け手を振る(左から)長内、もとむら、しまづの各衆院東海比例候補=4日、名古屋市

4日の演説会では、もとむら伸子衆院議員、しまづ幸広前衆院議員、長内史子党愛知県青年学生部副部長の各東海比例候補が総選挙勝利に向け決意表明。それぞれ「日本共産党と政党名で支持をお寄せください」と訴えました。

もとむら氏は、「総務委員として総務省の接待問題を追及し、公立病院・地域医療を守る立場で論戦をおこなってきた。入院ベッド削減の地域医療構想、公立・公的病院再編の撤回を迫りました。安心の医療を提供できるように全力をつくす」と述べました。

しまづ氏は、「愛知の最低賃金は今年の改定で955円。年間フルに働いても年間200万円にも届かない。中小企業支援とセットで全国どこでも時給1500円実現を。8時間働けば普通に暮らせる社会を」と訴えました。

長内氏は、「学生たちは感染拡大以降、オンライン授業で、精神的にまいっています。バイトも削られ生活費がない。学費を半額に。残業規制、最賃は引き上げましょう。若い女性の国会進出でジェンダー平等を推進しましょう」と語りました。